

流山市市民参加推進委員会の評価シート

<b>対象事項</b>	<b>(仮称)新市街地地区小中学校併設校の建設事業</b>
-------------	-------------------------------

① 市民参加の方法

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>利用者アンケート、公開ヒアリング、教職員協議会、ワークショップを経て、タウンミーティング、パブリックコメント、公聴会を実施しており、広く、かつ、慎重に市民の声を聞いていることは評価する。</p> <p>また、パブリックコメントの提出された意見の件数から市民の関心の高さが伺える。</p>		

② 市民参加の実施時期及び実施期間

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>市民参加の手法の実施時期及び実施期間を集中して実施しており適切な運用と評価する。</p> <p>制約を受けた期間において、市民参加を求めたことは一定の評価に値する。</p> <p><b>【各委員からの意見】</b>          (1)事業内容に対する市民の関心度の高さから、パブリックコメントの募集期間、意見交換会の実施回数などが少ないと感じた。また、パブリックコメントと意見交換会の実施時期についても検証すべきと考える。(意見交換会で発言できない意見をパブリックコメントで行う人もいるのではないか)。ただし、事前にアンケートの実施、公開ヒアリングにより市民の声を長期にわたり聞く姿勢は見られた。</p>		

③ 参加しやすい工夫

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>市民参加の手法としてタウンミーティング、公聴会、パブリックコメントときめ細かく並行し、多様に市民参加の機会を設けたことは適切と考える。</p> <p>意見交換会の開催場所を市内4箇所で開催したり、事業の内容から関心のある世代を考慮し、意見交換会における託児を設けるなど、多くの市民に参加してもらおうという努力は評価できる。</p> <p>簡単なアンケート用紙を作成し、PTAや自治会等の組織を活用して、事案の認知度を高め、草の根の意見を掘り起こすようにしてはどうか。</p> <p><b>【各委員からの意見】</b>          (1)公聴会を実施する場合も子育て中の市民も参加できるよう環境をさらに充実させたい。          (2)全市にわたって直接意見を求める機会が少なかった。タウンミーティングを実施したが、市内既存の各小・中学校PTA関係者等の意見を求める方法も重要な市民参加の手立てになるのではないか。</p>		

④ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>市民等へ広報紙、公聴会、タウンミーティング等を通じて適切に情報提供がされ、多くの市民が参加していることは評価できる。</p> <p>本事業は、市民全ての納得を得ることは困難であるため、丁寧な説明を行い、問題点や市の方針等を市民に理解してもらうためにも広報紙の特集号で学校の必要性、メリット・デメリット(とその克服方法)などを市民に説明してはどうか。</p> <p><b>【各委員からの意見】</b>          (1)事業内容の説明をするだけにとどまらず、市民参加や「パブリックコメントとは何か」というような説明も行き、その上でパブリックコメントや意見交換会などを実施して欲しい。          (2)体育館建設と重ねて大規模予算に対する市民参加を求めた感じがあり、本来の事業主旨とは違った展開を招いたのではないか。          (3)公聴会と意見交換会の実施についての周知(12月1日号広報掲載)と実施時期(公聴会1月26日)が離れすぎたため、印象が薄れてしまった。公聴会等の周知時期と実施時期を検討されたい。</p>		

⑤ 意見の取扱い

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>公聴会、タウンミーティング等での質問に対し丁寧に回答し、ホームページにおいて公表し、適正であるとする。</p> <p>他の事業に比べて、タウンミーティングへの参加数(180名)やパブリックコメントへの意見(74人)が多かったのは成果であり、意見を適切に反映したものである。</p> <p>事業内容(金額・規模等)から意見交換会等により市民からの色々な声に対し適切に対応しているように伺え問題ないと思う。</p> <p>大規模な事業であるため関係部署との連携が必要であり、市民参加の実施も大変だったことも理解できるが、「市民参加制度自体が市民に浸透していない」という理由で部署努力の色があまり見えてこなかった。しかし、事前アンケートの実施、公開ヒヤリングや児童(生徒)PTAとのワークショップなどで、市民の意見を聞いていこうという意思も強く伝わった。</p> <p>スケジュール上の制約があったと思われるが、タウンミーティング、パブリックコメント、公聴会の日程が短期間であった。少し余裕をもって市民の意見を集約されたい。</p> <p><b>【各委員からの意見】</b></p> <p>(1)市に対する意見に対し、すべて解決可能または解決済との回答であるが、問題が全くないとは言えない。むしろ、マイナスの面もきちんと提示し、それに対してどう取り組むのかを説明すべきではないか。</p> <p>(2)体育館建設と併せた大規模予算に反対する意見取り扱いの整理が十分に見えていない。また小・中学校の児童、生徒の意見を聞く機会がほしかった。</p>		

⑥ その他

<p>本対象事業の市民参加条例に関する評価及び改善についての各委員からの個別意見・提案等は次のとおり。</p> <p>(1)予算規模が巨大な事業に対する市民参加の方法として、アンケート、パブコメ、意見交換会、公聴会だけでは不足すると考えられる。併設校建設は教育機関として新たな基軸であり、審議会への諮問も含めて、幅広い分野からの意見を参考にすべきだったと史料する。</p> <p>(2)重要な案件であるため、3つの手法以外に加えた市民参加も検討してもよかったのではないかと。平成27年4月に開校したいというスケジュールがあったようだが、もう少し慎重に市民の意見を聞くことも必要だった。</p> <p>(3)市民参加に最もふさわしい案件なので、住民が納得できるようなしくみを整えていただきたい。</p> <p>(4)本事業のポイントは建設の必要性、建設資金と市財政との関連、既存他校との公平性であると思われるが、それぞれの問題点とその解決策を的確に説明することが大切である。その上で最終的に政治的な判断が必要になるのではないかと。</p> <p>(5)市民にとっては、生活に密着し次世代育成に関わる大きな事業であったため、関心も強く、意見も多くあった。このように財政面等が大きく絡む事業の際は、所管を教育総務課とすることに無理があり、関係部署を横断したより高いレベルでの取り組みとすべきではなかったか。また、各担当部署との連携を密接に行い、市民への情報提供と意見聴取を適切に行い事業を円滑に進めてほしい。</p> <p>(6)予算規模も大きく市民の関心も高く、目玉事業となっている現状がある一方、小学校を増やさなくてはならないという切羽詰まった現状に、流山市独自の市民参加条例に抵触するがために様々な手続きを踏まなくてはならない担当部署の負担感も感じた。本来この小中併設校の建設のための審議회를立ち上げてよかったのではないかと。もっと次元の異なったレベルで市民参加を図るべきではないかと。</p> <p>(7)この事業に限らないが、パブリックコメントを募集するにあたっては、資料の作成に工夫をしてもらいたい。行政用語の翻訳をした一般市民向けのプレゼンテーションという位置づけで取り組んでもらいたい。</p> <p>(8)公聴会での説明や質疑応答の内容が適切であったかどうかには疑問が残る。</p> <p>(9)担当部局のしっかりとした構想・計画が出来ていなかったのではと指摘されるような見方があるのは、偏に市民参加の方法が少なく、また土壇場で市民の参加を考えたのではないかと史料する。</p> <p>(10)教育についての学識経験者や校長会の代表、保護者代表、財政や建築の専門家等を招聘して公開の場を設け、答申をもらったうえで、公聴会、パブリックコメント、意見交換会を実施しても良かった。</p> <p>(11)建設事項については3つの手法の実施で適切と評価できるが、建設費に絡む財政支出に関しても関連事項として、他の方法による市民参加の実施が必要だったのではないかと。</p>
--

評価シートの記入基準を満たしていない→「不適切である」

評価シートの記入基準を満たしている→「概ね適切である」

評価シートの記入基準(※)等の案件に応じた工夫をしている→「適切である」